

東京ベイ舞浜ホテルの耐震指標について

東京ベイ舞浜ホテル

標題の件につきまして、以下の通りご案内申し上げます。

PML 値:10.8%

危険度は5段階中、2番目にリスクの低い「低い」に分類されますが、最も低リスクである「きわめて低い」が0～10%ですので、上記PML値は、(ほぼ)きわめて低い位置付けにあると言えます。

「PML 値」について

財団法人日本建築構造技術者協会(JSCA)のホームページより、抜粋・引用

http://www.jsca.or.jp/vol3/15tec_terms/200409/20040929.php

- Probable Maximum Loss: 予想最大損失率。
- PML は構造技術の耐震効果を客観的に表すことができる指標のひとつであり、建物ごとに耐震性能を独自に設定する性能設計の目標値として採用することもできます。建物の地震リスク分析のための建物調査のひとつであるエンジニアリング・レポートの中で使われる指標。
- PMLは、0%(無被害)から100%(全損)の値で評価され、PMLの値が小さいほど建物の地震による被害リスクは小さいこととなります。

PML(%)	危険度	予想される被害
0～10	きわめて低い	軽微な構造体の被害
10～20	低い	局所的な構造体の被害
20～30	中位	中破の可能性が高い
30～60	高い	大破の可能性が高い
60～	非常に高い	倒壊の可能性が高い

- 建築業界・不動産業界で、一般的に使用されているPMLの定義は、「対象施設あるいは施設群に対し、最大の損失をもたらす再現期間475年相当(50年間で10%を超える確率で襲ってくると予想)の地震が発生し、その場合の90%非超過確率に相当する物的損失額の再調達費に対する割合」という難解なものです。

2011年3月12日作成:東京ベイ舞浜ホテル 営業企画部